

第五回江南市学校給食基本計画策定委員会 会議録（概要）

会議名：第五回江南市学校給食基本計画策定委員会

開催日時：平成31年2月14日（木） 午後1時30分～午後2時10分

場所：江南市防災センター 2階 セミナー室

委員：出席委員11名

三澤 正和	(江南保健所職員)
岩田 和久	(医療関係者)
木内 清美	(学識経験者)
高田 和明	(江南市立小学校長)
熊崎 規恭	(江南市立中学校長)
尾崎 史子	(江南市立小中学校養護教諭)
竹島 淳子	(江南市立小中学校栄養教諭)
近藤 弘子	(江南市立中学校給食担当教諭)
多賀 麻由	(江南市立小学校PTA)
早川 由美	(保育園園長)
須賀 智佳子	(保育課栄養士)

欠席委員4名

秦 ゆかり	(江南市立小学校給食担当教諭)
豊田 美奈子	(江南市立中学校PTA)
加藤 雅子	(江南市子ども・子育て会議委員)
酒井 さおり	(保育園保護者)

事務局：村 良弘 (教育長)

菱田 幹生	(教育部長)
中村 雄一	(教育課統括幹)
佐久間 秀和	(教育課学校給食グループリーダー)
岡山 奈穂美	(教育課学校給食グループ員)
若林 俊哉	(教育課学校給食グループ員)

傍聴人数：0人

配付資料等：①次第

- ②第四回江南市学校給食基本計画策定委員会 会議録（概要）
- ③『江南市学校給食基本計画（案）』に関する
パブリックコメントの結果等について
- ④『江南市学校給食基本計画（案）』の修正について

[教育長あいさつ]

[委員長あいさつ]

[前回の議事概要（報告）]

事務局より配付資料②の説明があり、出席委員一同より了承

[議題1.『江南市学校給食基本計画（案）』に関するパブリックコメントの結果等について]

[議題2.『江南市学校給食基本計画（案）』の修正について]

事務局：（配付資料③、④を説明）

（委員長が確認し、出席委員からの質問はなし）

[計画書（案）の気付いた点について]

委員：実際にこのあと施設をどうしていくのでしょうか。

事務局：土地の確保を優先的に行い、その後財源の確保へ取り組み、市の実情に適した事業手法を選んで事業化を図ります。土地については、現在、市有地を中心に調査中であります。財源については、江南市では体育館、布袋駅東の開発など、大きな公共事業が続いていますので、そちらとの調整を今後行う必要があります。

事務局：本計画では、当初、候補地を示す予定でありましたが、絞り込むことができませんでした。しかし、この計画によって、アレルギー対応と給食の提供対象、施設の規模を決めることができました。今後は、この計画に基づいて取り組んでいきます。また、喫緊の課題については、適宜進めていきます。

委員：計画書中の「夏休みなどの長期休暇」という表現は、「休暇」ではなく「休業」とすべきではないでしょうか。（計画書 p.30）

事務局：指摘を踏まえ、修正します。

委員：計画書中で保育園における近隣自治体の実態の箇所「保育園を担当する栄養士と学校を担当する栄養教諭等が、アレルギー対応や食育指導について調整を図ることができ、切れ目のない対応が可能となる。」とあります。江南市は現状どのような状況でしょうか。（計画書 p.29）

事務局：保育園と学校の各代表が連携をしている状況であります。今後は、現場における連携も必要と考えています。

委員：パブリックコメントにおいて、「自校方式が良い」との意見が含まれるものに対して、市として「参考とする」とあります。自校方式も余地があるとの誤解を生むのではないのでしょうか。

事務局：1センター案で進めていき、土地の確保の問題から2センターも可能

性があるという状況です。参考とするのは、災害時の炊き出しの面であり、自校方式の整備を優先とする考えに改めるものではありません。

事務局：誤解を生むことがないように、「参考とする」を削除するか、「災害時の炊き出しについては参考とする」といった表現へと修正することで良いでしょうか。

（委員長が確認し、出席委員一同からの賛同を得た）

委員：パブリックコメントにおいて、「7大アレルギーを献立から減らす工夫を」との意見がありましたが、可能でしょうか。

事務局：現在も、米粉パンや米粉を原料とするホワイトシチュー、デザートのアダプト対応など、工夫しています。今後も意識してやっていきます。

[その他]

事務局：今後、議会、市長決裁を経て、計画書として公表する予定です。

[第五回江南市学校給食基本計画策定委員会 終了]